

## 自分は何ができるか

校長 小菅 みちる

令和8年度がはじまりました。66人の新入生を加え、全校で199人でのスタートです。生徒はそれぞれ、新しい気持ちで新しい学年を迎えました。いまのフレッシュな気持ちを忘れずに、何事にも精一杯取り組んでほしいと思っています。

6日の始業式には2、3年生に向けて、「主体的に動くこと」「時間を守ること」について話をしました。常に「自分は何ができるか」を考え、主体的に動く人になりましょう。その一歩一歩が、みなさんの未来を切り拓いていきます。

これからはじまる学校生活。生徒一人一人が笑顔で毎日を過ごすことができるよう、教職員一同、一丸となって指導に取り組んでまいります。

保護者のみなさま、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

### 第七十二回 入学式 式辞

桜の花びらが美しく舞う中、本日ここに、本校第七十二回入学式を挙行するにあたり、公私ともにご多用の中、父母と教師の会会長 溝口秀勝様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様方のご臨席を賜りましたことを高い席からではございますが、心より感謝と御礼申し上げます。

さて、六十六名の新入生のみなさん ご入学おめでとうございます。明るく規律ある学校、石川台中学校へようこそ。今日から皆さんは、この石川台中学校の一員です。石中でたくさんのお会いがあります。新しい知識との出会い、友だちとの出会い、感動との出会い。そしてその出会いの中で、たくさんのお話を学びます。人生の中で最も大きく成長するのが、中学生時代だと言えるでしょう。どうかみなさん自身で、有意義な三年間を作ってほしいと思います。

みなさんの着ている標準服は、一昨年、開校七十周年記念式典でお披露目した新しい標準服です。この、新しい標準服の導入は、現在高校三年生の生徒たちが中学二年生のときに発した言葉がはじまりでした。SDGsジェンダー平等の観点から時代に合った標準服が必要だ、という意見でした。生徒・保護者を含め様々な会議やアンケートを経て出来上がった新しい標準服です。デザインの細かいところまで、先輩方の思いがこめられている標準服であることを覚えておいてください。

標準服のベースは、スクールカラーの緑です。

ブレザーのボタンを見てください。気が付きましたか。石中の校章がデザインされているでしょう。これも生徒のアイデアです。石中の校章は、知能を表す五つのペンの形で成り立っています。五つのもつ意味は、責任・友愛・礼儀・勤労・共同です。中央に浮き出している「中」の文字は、知徳兼備の中学生であることを象徴しています。

石川台中学校の教育目標は「思考力に富む、実行力のある生徒、情操の豊かな生徒を育てる」です。ボタンの校章を見るたびに、この教育目標を思い出すことができるでしょう。

左胸のエンブレムを見てください。このエンブレムは、卒業生のデザインです。真ん中の「I（アイ）」の文字は「ISHIKAWADA」の頭文字の「I（アイ）」ですが、同時にこれは本校シンボルツリーのけやきの木の幹を表しています。上の方にある緑色の部分はけやきの葉です。石中の校庭のけやきの木を見たことがありますか。歴史を感じるとても大きな木です。



このけやきの木は、非常に残念なのですが、学校改築のため、やむを得ず、切ることになりました。けやきの木があつた場所に存在する期間は、あと一週間です。みなさんには石中のシンボルツリーをしっかりと目に焼き付けておいてほしいと思います。石川台中の同窓会の方々が、切ったけやきの木を使って教育家具を作りたいと、申し出てくださっています。みなさんは、入学した時点でもうすでに卒業生ともつながっているのですね。

さて、中学校生活の三年間を石川台中学校で過ごす上で、実践してほしい「石中生のあたりまえ」をお伝えします。

「石中生のあたりまえ」は全部で三つ。一つ目は「あいさつ・返事は元気よく！」です。あいさつは、コミュニケーションの第一歩。大事にしましょう。石中の二、三年生はあいさつがとてよくできます。みなさんも様々な場面でのあいさつを大切にしていきましょう。

「石中生のあたりまえ」二つ目は「チャイム始業！」です。石中ではチャイムで時間をお知らせしています。よく「チャイム着席」という言葉を耳にするのですが、石中はチャイムで着席するのではなく「チャイム始業」つまり、チャイムで授業をはじめます。このことは、広く「時間の管理をしっかりとる」ことにつながります。

「石中生のあたりまえ」最後は、「自ら正すフォーマルゾーン・人を認めるデイリーライフ」です。「自ら正すフォーマルゾーン」は時と場所に合った言葉遣いや行動をとりましょうということ。また「人を認めるデイリーライフ」は、デイリーライフというノートを使用して自分を省みたり相手を思いやったりすることを大切にしましょうということです。A組のみなさんは、デイリーライフではなく「連絡帳」と言っています。これから毎日使用することになるので、担任の先生の話をよく聞いて活用してください。

学校生活の中でわからないことがあったり、困ったりしたときには、先生方はもちろんですが、ここに座っている二年生、三年生の先輩に聞いてください。上級生は皆さんのお手本です。どんなことでも親切に教えてくれると思います。この立派な入学式の会場も、心を込めて準備してくれました。しっかりと学習に取り組むことができ、仲のよい、頼りになるすてきな上級生です。

新入生のみなさんには、伝統ある石中の生徒であることに誇りをもち、本校のシンボルツリーであるけやきの木のように大空に両手を伸ばし、夢をもって中学校生活を送ってほしいと願っています。お互いの違いを認め合うとともに、高め合っていきましょう。そして、ここにいる上級生と一緒に、心を合わせ、自分たちの手で、これからの歴史を作っていくてください。

保護者の皆様、お子様の中学校ご入学、本当におめでとうございます。六年間の小学校課程を無事終了され、真新しい制服に身を包まれたお子様の晴れ姿に、そのお慶びは計り知れないことと存じます。大切なお子様を教職員一同、今しっかりとお預かりいたしました。小規模校だからこそ実現できる、あたたかな関係づくりに努め、一人一人を大切に育ててまいります。こどもたちは、この三年間で、心も体も大きく成長します。その中で、失敗したり悩んだりして、心が揺らぐときがあるかもしれません。保護者の皆様におかれましては、あたたかく励ましながら自立を促すという視点でお子様と関わっていただけたらと思っています。

結びに、本校の教育に力強いご支援をいただいておりますご来賓の皆様にご改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本校の生徒たちに温かなお力添えを賜りますこと、重ねてお願い申し上げます。私の式辞といたします。

令和八年四月七日

大田区立石川台中学校

校長 小菅 みちる

## Welcome 石中へ！新入生歓迎会レポート ～じゃんけん王子に挑め～

4月8日（水）に新入生歓迎会を行いました。新しい生活に期待と不安でいっぱいの新入生を、在校生が温かく迎え、会場はまるで春の陽気のような和やかな雰囲気にも包まれていました。

当日は在校生による各専門委員会・部活動の紹介が行われ、本校での生活の魅力が伝わる内容となりました。在校生が明るくいきいきと発表する姿からは、日々の充実した学校生活の様子が感じられました。新入生は、昨年度の生徒が作成した「生徒会誌 樺 No.70」を片手に、それぞれの説明やパフォーマンスを熱心に見たり聞いたりする中で、学校生活への期待をふくらませているようでした。

また、中盤では新入生歓迎会恒例の「七色じゃんけん」を実施しました。「七色じゃんけん」とは、じゃんけんに勝ったら相手の色カードを一枚もらうことができ、七色揃えたらじゃんけん王子 一副校長先生一 に挑む権利が手に入るというゲーム。学年の枠を越えて関わることのできるこのゲームは、新入生にとって交流の輪を広げるチャンスというだけでなく、在校生にとってもあまり接点のない人と関わることのできる貴重な機会です。結果はじゃんけん王子の勝利でしたが、参加した生徒全員がこの時間を全力で楽しみ、新入生歓迎会は大成功に終わりました。

## 惜別…けやきの木よ、Forever



学校改築に向けての工事が進んでいます。図書室や音楽室が移転し、解体された場所にはバルコニーが設置されるなど、この数ヶ月で学校の様子は大きく変わりました。学校改築に伴い、石中のシンボルツリーであるけやきの木も伐採されることが決定しています。

そこで、けやきの木との最後の時間を思い出に残るものにしたいと考え、4月4日（土）に工事用フェンスで囲われているけやきの木の周辺を解放し、写真撮影の時間を設けました。当日は在校生だけでなく、卒業生や保護者の方々も足を運んでくださいました。けやきの木との別れを惜しみながらも、ご参加いただいた皆さんにとって思い出深いひとときとなりました。



## 開花！花いっぱいプロジェクト ～KFC 活動記～



1月号でご紹介した「花いっぱいプロジェクト」を覚えていますか？ボランティアの生徒が心を込めて植えてくれたチューリップの球根は。生徒たちが交代で水やりを続けてくれたおかげで、4月になり、きれいに花を咲かせました。卒業式に向けて発足したこのプロジェクトですが、チューリップは新生活を彩る象徴として、入学式に石中を明るく彩ってくれました。

上から見ると、「2026」の形になっています！

